

フォーラム

子どもたちの「生きる力」を育む 学校のあり方とは

<http://www.philanthropy.or.jp/sl/forum/>

日本の子どもたちは、「自己尊重感」「自己有用感」が低いことが様々な調査で明らかになっています。学校内だけでなく、教員や保護者、地域の多彩な人々と関わりながら、子どもたちが自分自身と向き合い、また地域への愛情を育み、「生きる力」を発揮させる取組みが、学校教育の現場でも求められています。

約 30 年にわたってスクールカウンセラーとして子どもたちの声に耳を傾け、「いのちの教育」を提唱する近藤卓氏（東海大学教授）の基調講演をはじめとして、「生きる力」を支える取組みの一つとして、「サービス・ラーニング」の可能性について紹介します。

「総合的な学習の時間」や「シチズンシップ教育」・「キャリア教育」の活用に関心の高い方々のご参加をお待ちしております。

日時：2013 年 2 月 17 日（日） 13：30～16：30

場所：ワークピア横浜（横浜市中区山下町 24-1、裏面地図参照）

定員：150 名 参加費：無料

プログラム

13:30 開会・挨拶

13:40～15:30 基調講演「子どもたちの『生きる力』を育む教育とは」
近藤卓氏（東海大学文学部心理・社会学科教授）

15:30～16:00 学校における寄付活動およびサービス・ラーニング研究発表

16:00～16:30 実践校による報告

16:30 閉会

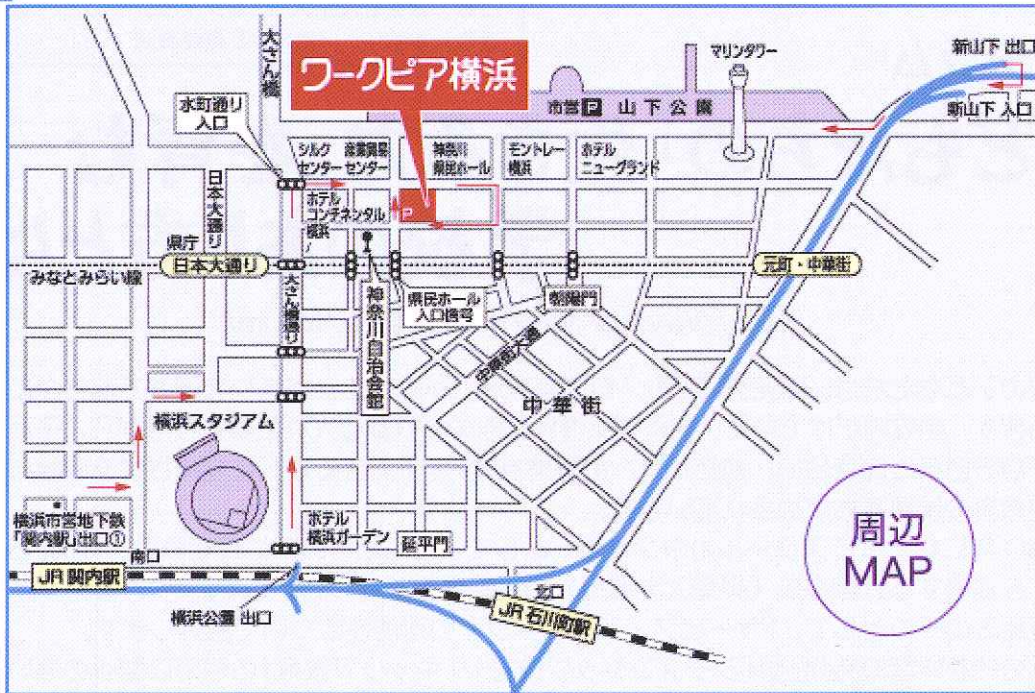
近藤卓氏プロフィール

1948 年生まれ。東海大学文学部心理・社会学科および大学院文学研究科臨床心理学系教授。子どもといのちの教育研究会・会長、日本学校メンタルヘルス学会・理事、日本学校保健学会・理事。専門は健康教育学、臨床心理学。臨床心理士、学術博士。高等学校の教諭を約 10 年間勤めた後、東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。ロンドン大学精神医学教室客員研究員、群馬大学、立教大学などの講師の後、東海大学に勤務。今に至る。約 30 年間にわたってスクールカウンセラーを務め、現在も継続中。

主な著書に、『PTG 心的外傷後成長 —トラウマを超えて』（編著）（2012 年、金子書房）『自尊感情と共有体験の心理学』（2010 年、金子書房）、『死んだ金魚をトイレに流すな』（2009 年、集英社）、『いのちの教育の理論と実践』（編著）（2007 年、金子書房）等、多数。



ワークピア横浜 アクセス



- 地下鉄みなとみらい線 「日本大通り駅」3番出口 徒歩2分
- JR京浜東北線 「関内駅」南口 徒歩15分
- JR京浜東北線 「石川町駅」北口 徒歩13分

お申し込み方法

※下記連絡先へ、電話・FAX・E-mailにてご連絡頂くか、ホームページよりお申込み下さい。

公益社団法人 日本フィランソロピー協会 (担当: 藤川)
 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 244区
 TEL: 03-5205-7580 FAX: 03-5205-7585
 E-mail: office.2011@philanthropy.or.jp
 URL: <http://www.philanthropy.or.jp/sl/forum/>

-----フォーラム申込み票 (FAX: 03-5205-7585) -----

お名前 (ふりがな)		()	
ご所属			
ご住所		〒 -	
TEL		FAX	
E-mail			